[pocket]

DISCIPLE

イエスとの7つの体験

ERIK FISH

KINGDOM HEART
PUBLISHING

Unless otherwise marked, Scriptures quotations are taken from the Holy Bible, New Living Translation. Copyright © 1996, 2004, 2007 by Tyndale House Foundation. Used by permission of Tyndale House Publishers, Inc. Carol Stream, Illinois 60188. All rights reserved.

Scripture quotations marked (NIV) are taken from the Holy Bible, New International Version,® NIV.®
Copyright © 1973, 1978, 1984, 2011 by Biblica, Inc.TM Used by permission of Zondervan.
All rights reserved worldwide.www.zondervan.com

Scripture quotations marked (The Message) taken from The Message.[pocket] Copyright © 1993, 1994, 1995, 1996, 2000, 2001, 2002. Used by permission of NavPress Publishing Group.

Pocket Disciple: Seven Experiences with Jesus.Copyright © 2014 by Erik Fish.
All rights reserved.
Printed in the United States of America.

ジェン

イエスの弟子となるというメッセージがどこにいても、何をしても大切なのだと教えてくれた、ジェンへ捧げます

目次

第一の体験　[変化]

第二の体験　[水]

第三の体験　[火]

第四の体験　[伝える]

第五の体験　[愛]

第六の体験　[集う]

第七の体験　[行く]

Pocket Disciple は
普通の本ではありません。
これは関係によるものです。

一対一

もしくは友達との

スモールグループで用いでください。

そして何が起こるか期待してください

弟子ポケットとは？

弟子ポケット（pocket Disciple) は簡単で、共にイエス様に従い、関係を成長させるための体験型の手引きです。この本を通し、共にイエス様に従う人と集まり体験する事で、繰り返し使える形でイエス様と出会うことを学びます。

弟子ポケットの使い方

弟子ポケットは道具です。一体験を促すための道具です。友達と共に集まってください。飲み物と食べ物を用意してください。一章ごと読み、その章について互いに話し合ってください。これは楽しく、神様と、またお互いの関係を成長させるのを手助けしてくれます。読み終わったら、この体験がもっと多くの人のためになるように分かち合ってください。

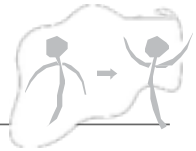
共に集まり神様が与えてくださる深い理解を共に分かち合うときに素晴らしいことが起こります。人と話し合うことにより霊的な勢いが生まれ、全コミュニティーだけでなく、その周りも変えられていきます。

弟子ポケットは数時間で読み終わることができます。もしくは７日間で短時間の集まりで終わらせることもできます。みなさんに最も適した方法で使用してください。

どうして聖書を用いるのか？

聖書はとても創造的で力強い本です。何千年にも渡って神様は色々な人を通し、出来事、話、歌、預言的ビジョンそして助言を書き記しました。聖書に書き集められたことは神の言葉、もしくはみ言葉と呼ばれています。み言葉を通し、私たちを愛し、みなさんと親しい関係を望まれている神様のご性質について知ることができます。神様の言葉の中心にはイエス様がおられ、彼は神様の愛を完璧に体現しています。これからの経験はイエス様との歩みを導き、神様の言葉がみなさんを導く道しるべとなるでしょう。

第一の体験　change　変化



「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい」ーイエス、マルコ1:15

目標

イエス様が語られた変化に心を開く

新しい人生

今までに混乱の中や、難題のある状況の中で急にみなさんの観点が完全に変えられ、急に自分がどのように行動すべきなのか鮮明にわかるようになるという経験はありますか？

イエス様はなんども変化について語られました。変化が私たちの人生に起こるとき、私たちがどのように神様と、また周りの世界と関わるのか、私たちは新鮮な観点を得ることにより、私たちのためになります。あなたの人生でずっと信者であったのか、霊的問題を全く考えてこなかったのかに関わらず、イエス様は彼を通して新しい命を体験することができると言われています。

ではどのように神様が語られたような変化を経験することができるのでしょう？神の御国の”福音”とはどういうことでしょう？

イエス様の話、そして霊的に疑問を持っている人と出会った話から始めましょう。イエス様を新しく、そして有意義な方法で体験をするために心を開き、読み、そして互いに話し合いましょう。

読み、話し合おう

あなたの気になるフレーズに線を引いてください。

パリサイ人の中にニコデモという人がいた。ユダヤ人の指導者であった。この人が、夜、イエスの元に来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることであることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなさるこのようなしるしは、だれも行うことができません。」

イエスは答えて言われた、「よくよくあなたに言っておく。だれでも新しく生まれなければ、神の国を見ることはできない」

ニコデモは言った、「人は年をとってから生まれることが、どうしてできますか？もう一度、母の胎に入って生まれることができましょうか」

イエスは答えられた「まことに、まことに、あなたに言っておく。だれでも、水と霊とから生まれなければ、神の国にはいることはできない。肉から生まれる者は肉であり。御霊によって生まれた者は霊です。ですので私が”新しく生まれなけでばならない”と言うときに驚かないでください。風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」

「どうして、そのようなことがありえましょう？」とニコデモは尋ねました。

イエス様は答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。まことに、まことに、あなたに告げます。わたしたちは、知っていることを話し、見たことをあかししているのに、あなたがたは、わたしたちのあかしを受け入れません。あなたがたは、わたしが地上のことを話した時、信じないくらいなら、天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。だれも天に上ったものはいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。それは、信じる者が皆、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。

神は、実にそのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じるものが、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」ヨハネ3:1-17

話し合おう

- どの言葉、フレーズが気になりましたか？
- この話の中でどのように変化についてイエス様は語っていますか？
- どのような福音をみつけましたか？

より深く学ぼう

それぞれの聖句の中にあるよい知らせ（福音）に線を引き、話し合いましょう。

この方はもとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。この方はご自分のくにに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子供とされる特権をお与えになった。この人は、地によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。　ヨハネ1:10-13

盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに保つためです。ヨハネ10:10

すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、なんの差別もありません。すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を表すためです。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐を持って見逃して来られたからです。それは、今の時にご自身の義を表すために、こうして神ご自身が義であり、また、イエスを信じるものを義とお認めになるためなのです。 ローマ22-26

キリストはこれが起こるに定まった時におとずれます。なぜなら、わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。わたしたちがまだ弱かった時、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。正しい人のためにでも死ぬ人はほとんどありません。情け深い人のためには、進んで死ぬ人があるいはいるでしょう。しかしわたしたちがまだ罪人であった時、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。ですから、今すでにキリストの血によって義と認められたわたしたちが、彼におって神の怒りからすくわれるのは、なおさらのことです。

もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。ーローマ10:9-10

神はわたしたちを世界の基に置かれる前から、彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、みむねとみこことのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。…私たちは神の作品であって、よい行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、わたしたちがよい行いを歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。ーエペソ1:4-5; 2:10

個人の適応

単純に言うと、この新しい始まりは、考え方（懺悔し）を変えることから始まり、イエス様の人生、死、復活の福音を信じることです。個人的に、心から、恥じることなく、イエス様がわたしたちを変えるために働いてくださるたった一人のお方で、わたしたちは単純に彼を信頼すれば良いのです。あなたが誰で、何をしたのか関係なく、これを経験することができます。

話し合いましょう

- イエス様が語られる変化に心を開きたいですか？
- あなたは悔い改め、イエスの福音を信じる意志がありますか？

イエス様が神の御国が来ることを知らされた時、彼のはじめの言葉は「悔い改めて福音を信じなさい」悔い改めるとはまさに「考え方を変える」ということです。悔い改めは過去、現在、そして未来の神様について、人生についての考え方を変えます。イモムシが大変貌を遂げ、蝶になる様子に似ており、私たちの内面も変えられ、そしてイエス様を中心にし、従うようになります。

行動

次のように共に祈ることができます：

「イエス様、今日、大変貌、変化を与え新しい始まりとしてください。今日、あなたについてのわたしの考えかたを変えることを選び、あなたの御国の福音を信じます。あなたがわたしを許すために来られた神の子であることを信じます。わたしと父なる神の関係を修復し、永遠の命を与えてください。今日、あなたの弟子となります。あなたに従い、あなたから学ばせてください。わたしはあなたがこの地に来られ、奇跡を行われ、死なれ、そして永遠の命を生きておられることを信じます。今日わたしに与えてくださっている永遠の命の贈り物を感謝します。わたしを許し、すべての間違ったこと、わたしの過去の行いから、わたしを癒してくださっていることを感謝します。今日わたしの中で始められているあなたの変化を感謝します。わたしの前に備えられている命に導いてください。」

このステップをイエスと取られたら、すばらしい選択をされました。おめでとうございます！

ここで覚えておきたいこと、日にちを記録されてもいいと思います:

次のページもイエス様との新しい命のなかでの成長を助ける経験をするのを導くことでしょう。

分かち合おう

神様から受けたすばらしい恵みを他の人と分かち合ってください。

このセクションで神様から学んだことを誰と分かち合う必要がありますか？

聖句補足

このトピックに関して、以下の箇所を読んでください：

ルカ24/ヨハネ14:1-14/ヨハネ17:1-21/使徒2:32-41/使徒17:24-31/ローマ5/2コリント5:18-21/エペソ1 & 2/コロサイ1

その他：

第二の体験 [water]「水」

「ここに水があります。バプテスマをうけるのになんの差し支えがあるでしょう？」ー使徒8:36

目標

バプテスマ（洗礼）とはなにか発見しましょう。

フォローアップ

イエス様から学んだことを誰かと分かち合いましたか？どうでしたか？

新しいアイデンティティー

イエスはシンボルや例え話を用い深い真理を説明されています。

バプテスマはイエス様がわたしたちに与えてくださっている明白な「儀式」の一つです。この経験はイエス様がわたしたちの人生のうちに作られた霊的変化のシンボルです。

イモムシが繭に入る時、古いアイデンティティーから離れます。また繭から出てきて蝶になる時、古い命は去ります。新しい命の始まりです。バプテスマ（洗礼）もそのようなもの

です。これは人が古い命から抜け出し、そして神様に愛されている息子、娘としての新しいアイデンティティーに気がつくことを表しています。

多くの人にとってバプテスマ（洗礼）はとても新しい経験です。他にも大人として洗礼を受けることは、彼らの家族の中で「新しく生まれ変わる」というクリスチャンとして受け継がれてきた伝統です。家族の霊的伝統に関わらず、家族を尊敬しイエスの中にある新しいアイデンティティーを成長させるための洗礼を経験することができます。

では力強い体験について話してみましょう。

読んで、話し合おう

あなたの気になるフレーズに線を引いてください。

主の使いがピリポに向かってこう言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい」そこで彼は立って出かけた。すると、そこに、エチオピア人の女王カンダケの高官で、女王の財産全部を管理していた宦官のエチオピア人がいた。彼は礼拝のためエルサレムに上り、いま帰る途中であった。彼は馬車に乗って、預言者イザヤの書を読んでいた。

主の使いがピリポに向かってこう言った。「近寄って、あの馬車と一緒に行きなさい」ピリポが走っていくと、預言者イザヤの書を読んでいるのが聞こえたので、「あなたは、読んでいることが、わかりますか」と言った。

彼は答えて言った「導く人がなければ、どうして分かりましょう？」そして馬車に乗って一緒にすわるように、ピリポに頼んだ。彼が読んでいた聖書の箇所には、こう書いてあった。

「ほふり場に連れていかれる羊のように、また黙々として毛を刈るものの前に立つ子羊のように、彼は口を開かなかった。彼は、卑しめられ、そのさばきも取り上げられた。彼の時代のことを、だれが話すことができようか。彼の命は地上から取り去られたのである。」

宦官はピリポに向かって言った。「預言者はだれについて、こう言っているのですか。どうか教えてください。自分についてですか、それとも、だれか他の人についてですか」ピリポは口を開き、この聖句から始めて、イエスのことを彼に宣べ伝えた。

道を進んでいくうちに、水のあるところに来たので、宦官は言った。「御覧なさい。水があります。私がバプテスマを受けるのに、なんのさしつかえがあるでしょうか」そして馬車を止めさせ、ピリポも宦官も水の中へ降りていき、ピリポは宦官にバステスマを授けた。水から上がってきた時、主の霊がピリポを連れ去られたので、宦官はそれから後彼を見なかったが、喜びながら帰って行った。- 使徒8:26-39

より深く学ぼう

読み、線を引き、話し合ってください。

神はこのイエスをよみがえらせました。私たちは皆、そのことの証人です。ですから、神の右に上げられたイエスが、御父から約束された聖霊を受けて、今あなたがたが見聞きしているこの聖霊を御注ぎになったのです。ダビデは天に上ったわけではありません。彼は自分でこう言っています。

「『主は私の主に言われた。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまではわたしの右の座に着いていなさい』

ですから、イスラエルのすべての人々は、このことをはっきりと知らなければなりません。すなわち、神が、今や主ともキリストともされたこのイエスを十字架につけたのです」

人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち。私たちはどうしたらよいでしょうか」と言った。

そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれの罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊をうけるでしょう。なぜなら、この約束は、あなたがたと、その子供たち、ならびにすべての遠くにいる人々、すなわち、わたしの神である主がお召しになる人々に与えられているからです」

ペテロは、このほかにも多くの言葉をもって、あかしをし、「この曲った時代から救われなさい」といって彼らを勧めた。そこで彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。- 使徒2:32-41

「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国々の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らに教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます」 -マタイ28:18-20

話し合いましょう

- イエス様の福音を聞いた後、人々はどのように反応していますか？
- 彼に従う者となった後に洗礼を受けるように教えられているのはなぜでしょうか？

個人の適応

イエス様は外側の儀式よりも私たちの心をもっと気にかけてくださいます。洗礼はただの儀式ではなく、それは信仰によりイエスを経験するものです。

信じている福音に関して、考えを変える決断をしましたか？パプテスマを経験する準備はできていますか？

もし洗礼について質問や懸念があれば、神様と他の人とも互いに心を開いてください。

行動

イエス様に従う者はだれでも人に洗礼を授けることができます。もしあなたが誰か洗礼を授けて欲しい人とこの本を読んでいるのなら、大胆に行ってください。行うことが許されています！

洗礼を受けるための時間と場所を決めてください。（もしふさわしい状況なら、今すぐ行えます）プール、浴槽、温泉, その他

あなたの洗礼について家族と友達に敬意を示す方法はありますか？もしあるなら、彼らをこの祝いの場に招待してください。

分かち合おう

神様のすばらしい恵みから、受けたことをほかの人と分かち合ってください。

このセクションで神様から学んだことを聞く必要がある人を誰か知っていますか？

聖句補足

このトピックに関して、以下の箇所を読んでください：

使徒16:16-34/ 使徒22:1-16/ローマ6:1-14/ コロサイ2:1-15/ 第一ペテロ3:18-22, その他

第三の体験 [fire] 火

「彼はあなたがたに聖霊と火とのバプテスマをお授けになります」-ルカ3:16

目標

聖霊様を認識し、受け入れる

フォローアップ

だれに前のセッションでの経験について分かち合いましたか？どうでしたか？

力強い炎

神はひとりです。神はご自身を、父、子、そして聖霊の３つの人格として表されます。

イエス様が天に上げられた時、彼は私たちをひとりにはされませんでした。彼は聖霊を私たちに送ると約束してくださいました。

みなさん「野火のように広がる」というこの表現を聞いたことがあると思います。力強い炎はあなたの人生とこの惑星のための神様の目的に進み寄るようにと駆り立てます。

神はあなたに権限を与えるために聖霊を送られ、導き、教え、そして霊的な賜物の祝福をくださいます。ある人はイエス様に従うと決めた日に聖霊の贈り物を経験することもあります。またある人にとってはもっと徐々にそれを経験することもあります。時々、ある特定の時の後に受ける事もあります。

では聖霊を経験した人々の話をいくつか見ていきましょう。

読んで、話し合おう

あなたが気になったフレーズに線を引いてください。

サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。

その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外の者はみな、ユダヤとサマリヤの諸地方に散らされた。敬虔な人たちはステパノを葬り、彼のために非常に悲しんだ。

サウロは教会を荒らし、家々に入って、男も女も引きずり出し、次々に牢に入れた。地方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。ピリポはサマリヤの街に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。群衆はピリポの話を聞き、その行っていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くし、多くの中風の者や足のなえた者は直ったからである。それでその町に大きな喜びが起こった。

ところが、この町にシモンという人がいた。彼は以前からこの町で魔術を行って、様リヤの人々を驚かし、自分は偉大な者だと話していた。小さな子供から年配に至るまで、あらゆる人々が彼に関心を抱いていた。彼ら全員、この人が超自然的な力を持っていると思い、「偉大なる魔法使い」と呼んでいた。人々が彼に関心を抱いていたのは、長い間、その魔術に驚かされていたからである。

しかし、ピリポが神の国とイエス・キリストの御名について宣べるのを聞き、みなシモンのことを忘れバプテスマをうけ、右にも左にも信じる者であふれた！シモンさえもその福音を信じ、バプテスマを受けたのである。その後彼はピリポの影のようになり、神のしるしとすばらしい奇跡が行われるのを見、ピリポのそばを離れなかった。

さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れた時いて、ペテロとヨハネを彼のところへと遣わし、聖霊を受けるようにと祈った。彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。ふたりが、彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。- 使徒8:1-17

話し合おう

- この聖句から聖霊について何を見ましたか？

読んで、話し合おう

あなたが気になったフレーズに線を引いてください。

アポロがコリントにいた間に、パウロは奥地を通ってエペソに来た。そして幾人かの弟子に出会って、「信じた時、聖霊を受けましたか」と尋ねると、

彼らは、「いいえ、聖霊の与えられることは、聞きもしませんでした」と答えた。

「では、どんなバプテスマを受けたのですか」と言うと、

「ヨハネのバプテスマです」と答えた。

そこで、パウロは、「ヨハネは、自分のあとに来られるイエスを信じるように人々に告げて、悔い改めのバプテスマを授けたのです」と言った。

これを聞いたその人々は、主イエスの御名によってバプテスマを受けた。パウロが彼らの上に手を置いた時、聖霊が彼らに臨まれ、彼らは異言を語ったり、預言をしたりした。その人々は、みなで１２人ほどであった。- 使徒19:1-7

話し合おう

- この聖句から聖霊様について何を見つけましたか？

より深く、学ぼう

読み、線を引き、話し合ってください。

「わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。その方は真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたと共に住み、あなたがたのうちにおられるからです。- ヨハネ14:16-17

その日、すなわち週の初めの日の夕方のことであった。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあったが、イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」そうして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい」- ヨハネ20:19-22

テオピロよ。わたしは前の書で、イエスが行いを始め、教え始められたすべてのことについて書き、お選びになった使徒たちに聖霊によって命じてから、天に上げられた日のことにまで及びました。イエスはこの苦しみを受けた後、４０日の間、彼らに現れて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」

そこで、彼らは、一緒に集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」

イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくても良いのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」 - 使徒1:1-8

しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません！キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。- ガラテヤ5:22-25

愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言をすることを熱心に求めなさい。- １コリント14:1

個人の適用

どのように聖霊を受けることができますか？

「わたしは、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。だれであっても、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。」

「あなたがたの中で、子供が魚をくださいと言うときに、魚の代わりに蛇を与えるような父親が、一体いるでしょうか。卵をくださいと言うのに、だれが、さそりを与えるでしょう。してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子供には良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊をくださらないことがありましょう。」- ルカ11:9-13

あなたは心を委ね、求めるだけで聖霊を受けることができます。他のイエスに従う人が人の上に手を置き祈るとき、聖霊の働きをもとめます。

話し合おう

- 神様によって聖霊様に満たされたいですか？

行動

聖霊を受けるために祈りましょう。共にこのように祈ることもできます。

「お父さん、あなたに尋ねる者全員に聖霊を与えてくださると約束してくださいました。わたしの人生に聖霊様の力を与えてください。御霊の実を、そして聖霊の賜物を望みます。聖霊でわたしを満たしてください。」

少しの間、静まり待ちましょう。イエス様と父なる神の愛に焦点を当てましょう。聖霊によって何か絵などを受け取るかもしれません。なにかあなたの内で湧き立つものがあれば声に出して祈ってください。それは祈りであり、預言（神からの言葉）異言（他言語で話す）もしくは強い平安の感覚、そして神様との親密さかもしれません。なにか感じるかもしれませんし、感じないかもしれません。時々人々は後にもっと明白な聖霊の現れを経験することもあります。恐れないでくださいー神は彼の子供に良い贈り物だけをくださいます。

分かち合おう

他の人とこの神様から受けた素晴らしい祝福について分かち合ってください。

この箇所で、だれに学んだことを伝える必要がありますか？

聖句補足

このトピックに関して、以下の箇所も読んでみてください：

ルカ3:15-16/ルカ24:35-49/ヨハネ14:26/ヨハネ16:12-15/使徒1&2/使徒10/ローマ8:15-16/ローマ8:2/１コリント2:1-5/１コリント12,13&14/ガラテヤ5:22-26/エペソ1:13-14

その他

第四の体験 [tell] 伝える

「あなたの家にかえり、あなたの話を伝えなさい…」- イエス。マルコ５

目標

他の人にも意味のある方法であなたの霊的経験を伝える。

フォローアップ

前のセッションで経験したことを誰に伝えましたか？どうでしたか？

あなたの話

新訳ではある一人の人がイエスと出会い、他の人にも彼に従うように影響を与えた例えが多く書いてあります。

イエス様は彼のメッセージをすべての国に伝えたいと願われています。彼はこのメッセージを人々のどのように伝えれば良いのか、人々に指示を与えてくださいました。それは世界中が聞いたことのない福音を伝えるためのものです。しかし、この素晴らしい知らせを知らせるのに、他の方法よりも良い方法があります。メッセージの大切さをどのように伝えますか。

あなたの個人的なイエス様との出会いの話には力があります。話し合ったり、論争したりするよりも、あなたの個人的な話を分かち合い、イエス様について伝えることが一番効果的です。

この章では、あなたの個人的な話を書いてください。「神様、誰にわたしの話を伝えればいいですか？」と自分自身に戦略的に挑戦してください。

読んで、話し合おう

あなたの気になるフレーズに線を引いてください。

こうして彼らは湖の向こう岸、ゲサラ人の地に着いた。イエスが舟から上がられると、すぐに、汚れた霊につかれた人が墓場から出てきて、イエスを迎えた。この人は、墓場に住み着いており、もはやだれも、鎖をもってしても、彼をつないでおくことができなかった。彼はたびたび足かせや鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり、足かせも砕いてしまったからで、だれにも彼を抑えるだけの力がなかったのである。それで彼は、夜昼となく、墓場や山で叫び続け、石で自分のからだを傷つけていた。

彼はイエスを遠くから見つけ、駆け寄って来てイエスを拝し、大声で叫んで言った。「いと高き神の子、イエス様、いったい私に何をしようというのですか。神の御名によってお願いします。どうか私を苦しめないでください！」（イエスは「汚れた霊よ、この人から出て行け！」と言われたからである）

イエスが「お前の名は何か」と尋ねると、

彼は「私の名はレギオンです。私たちは大ぜいですから」と言った。そして、自分たちをこの地方から追い出さないでくださいと懇願した。

ところで、そこの山腹に、豚の大群が飼ってあった。彼らはイエスに願って言った。「私たちを豚の中に送って、彼らに乗り移らせてください。」イエスがそれを許されたので、汚れた霊どもは出て行って、豚に乗り移った。すると、２千匹ほどの豚の群れが、険しいがけを駆け降り、湖へなだれ落ちて、湖に溺れてしまった。

豚を飼っていたものたちは逃げ出して、町や村々でこの事を告げ知らせた。人々は何事が起こったのかと見にやって来た。そして、イエスのところに来て、悪霊につかれていた人、すなわちレギオンを宿していた人が、着物を着て、正気に返って座っているのを見て恐ろしくなった。

見ていた人たちが、悪霊にとりつかれていた人に起こったことや、豚のことを、つぶさに彼らに話して聞かせた。すると、彼らはイエスに、この地方から離れてくださるように願った。

それでイエスが舟に乗ろうとされると、悪霊につかれていた人が、お供をしたいとイエスに願った。しかし、お許しにならないで、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にどんなに大きなことをしてくださったかを、10の町で、言い広めた。- マルコ５

話し合おう

- この話の中でイエス様について、何を見ますか？
- 人々について何を見ますか？
- イエス様は、その人に誰に彼の話をしてほしいと願われましたか？
- 彼の話が、どのように町に影響を与えましたか？

より深く、学ぼう

読み、線を引き、話し合いましょう

その後（イエス）は、別に70人を定め、ご自分が行くつもりのすべての町や村へ、二人ずつ先にお遣わしになった。そして、彼らに言われた。

「実りは多いが、働き手が少ない。だから収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように、祈りなさい。

行きなさい！しかし気をつけなさいーこれは危険な働きです。あなたがたは狼の中の子羊のようなものです。

荷を軽くして旅立ちなさい。くしと歯ブラシだけ持って行き、他のカバンは持って行ってはなりません。

ふらつかず、道で会う人との会話は必要以上してはいけません。

どの家に入っても、まず家族に「平安があるように」と言いなさい。もしあなたの挨拶を受け入れられれば、そこは泊まるのによい場所です。しかし、もし受け入れられなければ、その場から離れなさい。自分を課してはいけません。

その家に泊まっていて、出してくれる物を飲み食いしなさい。働く者が報酬を受けるのは、当然だからです。家から家へと渡り歩きまわり、町のすぐれた料理を求めてはいけません。

どの町に入っても、あなたがたを受け入れてくれたら、出された者をたべなさい。その町の病人を癒し、彼らに、「神の国が、あなたがたに近づいた！」と言いなさい。

しかし、町に入っても、人々があなたがたを受け入れないならば、大通りに出て、こう言いなさい。「私たちは足についたこの町のちりも、あなたがたにぬぐい捨てていきます。しかし、神の国が近づいたことは承知していなさい」あなたがたに言うが、その日には、その町よりもソドムのほうがまだ罰が軽いのです。ールカ10:1-12

あなたがたのうちにある、クリスチャンとしての希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。ただし、優しく、慎みを恐れて、また、正しい良心をもって弁明しなさい。

そうすれば、キリストにあるあなたがたの正しい生き方をののしる人たちが、あなたがたをそしったことで恥じ入るでしょう。ー１ペテロ3:15-16

話し合おう

- これらの聖句からイエス様の分かち合われたメッセージについて何を得ましたか？

個人の適応

あなたがどのように個人的にイエスに出会ったのかという話は大切です。おおげさに話したり、他の人のようになる必要はありません。正直になればいいのです。

行動

１）5から10分ほど取って、イエス様との個人的な話を書いてください。この本の後ろに場所が用意されています。あなたの今の旅路の時点で、神様とどのような経験をしているのか簡潔に分かち合ってください。

みなさんが書くためにのヒントを書いておきます：

・イエス様と出会う前の人生でのあなたの性格はどのようなものでしたか？

・あなたをイエス様について行きたいと思わせた、彼についての発見はなんでしたか？

・あなたの今の人生をイエス様がどのような違いをもたらしていますか？

2)　少し時間を取って互いに声に出してあなたの話を伝え合う練習をしましょう。

3)　イエス様はあなたの話をだれに伝えて欲しいと願われていますか？

分かち合おう

神から受け取ったすばらしい祝福をだれかと分かち合ってください。

このセクションで神様から学んだことをだれに伝える必要がありますか？

聖句補足

このトピックに関して、以下の箇所も読んでみてください：

マタイ7:6/マタイ10:5-20/ルカ9:1-6/ヨハネ4:1-42/ヨハネ9/使徒22/使徒26:1-23/２ペテロ1:16-21　その他

第五の経験 [love]　愛

「あなたがたに新しい戒めを与えましょう。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もし互いに愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」-イエス、ヨハネ13:34-35

目標

神の愛を体験し、互いに愛を表現し合う。

フォローアップ

前のセッションであなたの経験をだれに伝えましたか？どうでしたか？

伝染する愛

あなたの残りの人生で、愛の深い意味について探すことができます。聖句はこのように要約しています：「神は愛です」（１ヨハネ4:8）

神の愛は宇宙の中で最も力強いものです。神は愛をもって世界を創造されました。愛のために、神はイエスを送られました。考えてみてください、神は私たちをとても愛しておられたため、人となり、彼を拒絶し、呪った人のために死ん

でくださいました。神はどれほど彼の子供となった私たちに彼の愛を注ぎたいと願っておられるでしょうか

神がどれほど無条件の愛を持ってあなたがたを愛しているのかを知ることは、偉大な愛を持ってどのように生きるのかという秘訣を発見することです。神の愛が私たちの心を引き寄せ、彼を愛し、互いに愛し合うことを教えています。

読んで、話し合おう

気になるフレーズに線を引いてください。

さて、あるパリサイ人が、一緒に食事をしたい、とイエスを招いたので、そのパリサイ人の家に入って食卓に着かれた。すると、その町に一人の罪深い女がいて、イエスがパリサイ人の家で食卓に着いておられることを知り、香油の入った石膏のつぼを持ってきて、泣きながら、イエスのうしろで御足のそばに立ち、涙で御足をぬらし始め、髪の毛でぬぐい、御足に口づけして、香油を塗った。

イエスを招いたパリサイ人は、これを見て、「この方がもし預言者なら、自分にさわっている女がだれで、どんな女であるか知っておられるはずだ。この女は罪深い者なのだから」と心ひそかに思っていた。

するとイエスは、彼に向かって「シモン。あなたに言いたいことがあります」と言われた。

シモンは「先生、お話しください」と言った。

「ある金貸しから、ふたりの者が金を借りていた。ひとりは５百でなり、ほかのひとりは５十でなり借りていた。彼らは返すことができなかったので、金貸しはふたりとも赦してやった。ではふたりのうちどちらがよけいに金貸しを愛するようになるでしょうか。」

シモンが「よけいに赦してもらった方だと思います」と答えると、

イエスは、「あなたの判断は当たっています」と言われた。そして女性の方を向いて、シモンに言われた。「この女を見ましたか。わたしがこの家に入ってきた時、あなたは足を洗う水をくなかったが、この女は、涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれました。あなたは、口づけをしてくれなかったが、この女は、わたしが入ってきた時から足に口づけしてやめませんでした。あなたは、わたしの頭に油を塗ってくれなかったが、この女は、わたしの足に香油を塗ってくれました。

だから、わたしは『この女の多くの罪は赦されている』と言います。それは彼女がよけい愛したからです。しかし少ししか赦されていない者は、少ししか愛しません」そして女に「あなたの罪は赦されています」と言われた。

すると、いっしょに食卓にいた人たちは、心の中でこう言い始めた。「罪を赦したりするこの人は、いったいだれだろう」

しかし、イエスは女に言われた。「あなたの信仰が、あなたを救ったのです。安心して行きなさい」- ルカ7:36-50

話し合おう

- この話の中で愛について何を思いましたか？

より深く、学ぼう

読んで、線を引き、話し合ってください。

愛する友よ、愛は神から出ているのですから、互いに愛し合いましょう。愛のある者はみな神から生まれ、神を関係を経験しています。愛を拒む人は神について知らないのです。なぜなら神が愛だからです。ですので、あなたが愛を知らなければ、神を知ることはできません。神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、命を得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。私たちの話している愛とはこのようなものです。私たちが神に愛したのではなく、神が私たちを愛し、わたしの罪のために、なだめの供え物としての御子を使わされまし、神と私たちとの関係を修復してくださいました。

愛する友よ、神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。未だかつて神を見たものはいません。しかし私たちが互いに愛し合うなら、彼の愛が私たちの中で完全な愛となるのです！ - １ヨハネ4

こうしてキリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたの心の中に住んでいてくださいますように。また、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。- エペソ3:17-19

イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ』これがたいせつな第一の戒めです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。律法全体と預言者とが、この２つの戒めにかかっているのです。」-マタイ22:34-40

それゆえ、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身につけなさい。互いに忍び合い、だれかが他の人に不満を抱くことがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを愛してくださったように、あなたがたもそうしなさい。そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。-コロサイ3:12-14

話し合おう

- どのように愛を示し合うのがもっともあなたにとっての挑戦ですか？
- 一番楽しそう（わくわく）だと思ったことはどれですか？

個人の適応

神様と時間を過ごしてください。

神様はよい父です。彼はあなたを愛し、時間を過ごしたいと願われています。神様と時間を過ごす時、彼はしばしばあなたに話しかけ、励まされます。神様は聞こえるように話されますが、しばしば優しく、静かな声で語られます。

「私たちが神の子供であることは、御霊ご自身が、私たちの霊とともに、証してくださいます」-ローマ8:16

神様とより頻繁に時間を過ごすと、他の思いや影響の中でも彼の声を聞き分けることができるようになります。あなたの彼に対する愛は成長し、他の人を愛する権威も与えられます。

ひとつの思いの方式

ひとるの思いの方式は神様と時間を過ごすとき、聖書のほとんどの箇所と作用し合い、用いることのできる道具です。（かれと時間を過ごす方法は無数にあります。-これはあなたが始めるのを助けるための道具です）

- あなたが興味のある聖句を開いてください。もし思い浮かばなければ、前のページに書かれているところから選んでください。
- 線を引き、あなたの心に留まった言葉や、フレーズについて考えてみてください、
- 神様が与えてくださった思いと考えはなんですか？

ここに書いてください：

この思いを神への祈りへ変え、伝えてください。（例えば：神様が「愛しているよ」と言われれば、あなたが「愛してくださってありがとうございます。わたしも愛しています」と祈ります）神様と会話をするのだという祈りを考えてください。

ここに祈りを書いてください：

行動

神と時間を過ごすとき、他の人にも溢れる愛を与え、助けてくださいます。

1)　この思いの方式をガイドとして用い、神様と時間を過ごしてください（今練習したければ、練習してください）。いつ、そしてどこで神様と時間を過ごしますか？

---

2)今週あなた自身が愛の中で成長するために、他の人を愛することを行動に移してください。神様は誰に愛を示すようにあなたを励まされていると感じますか？

分かち合おう

この素晴らしい神様から受けた祝福を誰かと分かち合ってください。

このセクションで神様は誰に学んだことを伝えて欲しいと願われていますか？

補足箇所

このトピックに関して、以下の箇所も読んでみてください：

ルカ7:36-50/ルカ15/ヨハネ15:9-17/使徒4:32-37/ 1 コリント13/ 1 ペテロ1:22/ その他：

第六の経験[gather] 集う

「２人でも３人でも、わたしの名によって、集まるところには、わたしもその中にいます」-イエス、マタイ18:20

目標

食卓でイエス様は人々と共にされたことを覚える

フォローアップ

前のセッションであなたの経験をだれに伝えましたか？どうでしたか？

共に集まる

ガチョウの飛ぶことよりすごい能力は、群れとして飛ぶことができることです。群れの中でガチョウの美しさが現れ、神様のデザインが性質の中に刻まれています。群れは相互依存の力強い現れで、個体として飛ぶよりも、互いに力を与えあうことによって、高く遠くに飛ぶことができます。

同様に、イエスに従う最大の喜びは、他のイエスに従う人々と共に集うときです。

弟子ポケットを読む中で、他の人と集まり共にイエスと出会いのパターンを学んでいます。ガチョウが群れとして飛ぶ

ように、あなたも友と霊的家族を信頼し、イエスに従う中で、このパターンを繰り返すことができます。

このセクションでイエスが「寄り集まる」ことについてどのように言われているのかを学んでいきます。まず初代の弟子たちが共に集まり、どのようにイエスを覚えたのか、その体験について書いてある話からはじめましょう。

読んで、話し合おう

気になるフレーズに線を引いてください

その日、彼の言葉を受け入れた者は3千人もおり、バプテスマを受け弟子に加えられた。彼らは使徒の教えをかたく守り、ともに生活をし、ともに食べ、祈った。

そして一同の心に怖れが生じた。それは使徒たちによって多くの不思議と印が行われたからである！そして信者となった者は美しい調和を保ち、すべての物を分かち合っていた。そして、資産や持ち物を打っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。

そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを先、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人を仲間に加えてくださった。-使徒2:41-47

話し合おう

- 新しくイエスに従う人が互いに接し合うとき、どのような特徴がありますか？
- どのような習慣を互いに実践していますか？

より深く、学ぼう

読んで、線を引き、話し合いましょう。

また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。-ヘブル10:24-25

「わたしは天から下ってきた生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に行きます。またわたしが与えようとするパンは、世の命のための、わたしの肉です。」

すると、ユダヤ人たちは、「この人は、どのようにしてその肉を私たちに与えて食べさせることができるのか」と言って互いに議論しあった。

イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。人の子の肉を食べ、またその血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。わたしの肉はまことの食物、

わたしの血はまことの飲み物だからです。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしも彼のうちにとどまります。生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。」-ヨハネ6:51-57

さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスといっしょに席に着いた。イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたといっしょに、この過越の食事をすることをどんなに望んでいたことか。あなあがたに言いますが、過越が神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過越の食事をすることはありません。

そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来るときまでは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」

それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これはあなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行いなさい。」

食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」- ルカ22:14-20

話し合おう

- どうしてイエスは弟子たちに食事をするときパンとぶどう酒をもって彼を覚えるように教えられたのでしょうか？

個人の適応

食事のとき、もしくはパンとワイン（ジュース）を飲むとき、他の弟子とイエスを覚えることを「主の晩餐」もしくは「聖餐」と呼ばれます。主の晩餐を互いに分かち合うことはシンプルで、私たちがどこにいても、いつでも共に集まりイエスを覚えるのに意味のあるものです。それは深刻で公式的である必要はありませんーただ聖句のたとえのように、イエスを愛する友と共に集まることなのです。

行動

共に主の晩餐を実践しよう。

もしパンとワインがなければ、なんでも見つけることのできる食べ物と飲み物を用いてください。共に少しの間イエスを覚えましょう。

グループとして成長しよう
「ふたりでも３人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。」-イエス、マタイ18:20

多くのとき、イエスに従う人々は共に祈り主の晩餐を共に行い、互いに愛し合い、共に神の言葉に従います。これは教会としてのシンプルな形です。グループの人数が大きくなりすぎて、互いに交流するのが難しくなった時、他に、より小さなグループを増やそうとします。
イエスに従う人は誰でも、友人や家族とグループを始めることができます。共に集まった時、シンプルな教会のコミュニティーを成長するための、いくつかのことがあります。
言葉 -　読んで、聖霊様が導かれるように神の言葉について話し合いましょう。各週、このみ言葉をどのように適応しているのかを分かち合いましょう。
礼拝 -　祈りと賛美をもって、愛する神と時間を過ごしましょう。
交わり -　イエスが食事を共に食べ、飲んだことを覚えましょう。有意義な会話をし、喜びを持って分かち合い、生活の中の挑戦を互いに分かち合いましょう。互いに励まし合いましょう。

ここにガイドがあります：

1)　主の晩餐の聖句（前のページ）を読むか、聖霊があなたに与えられた聖句を読んでください。

2)　一人、または数名が、キリストの体と血がどのような意味があり、あなたのために何をされたのかを声をあげて（自分の言葉で）言いましょう。

3)　イエスを覚えるために共に食べ、飲みましょう。

---

4)　神に感謝を捧げるための時間を持ちましょう。もし、賛美を歌いたかったり、時間を持って共に祈りたければ、そうしてください。

分かち合おう

神様から受けたすばらしい祝福を人と分かち合いましょう。

このセクションで神様から学んだことを誰に伝える必要があるでしょうか？

補足聖句

このトピックに関して、以下の箇所も読んでみてください：

ヨハネ6:47-58/ヨハネ10:14-16/1コリント12:12-27/1コリント14:26/コロサイ3:16/　その他

第七の経験　[go] 行く

「出て行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」

-イエス、マタイ28:19

目標

大宣教命令を覚える。

フォローアップ

前のセクションで経験したことを誰と分かち合いましたか？どうでしたか？

行って、人を弟子としよう

イエスはこの地に来られました。彼は病人を癒し、悪霊につかれたものを自由にしました。彼は人々に神を心から愛し、互いに愛し合うことを示されました。十字架につかれ、よみがえられました。弟子たちをこの地での任務を果たすために訓練され、天に上げられる前に、弟子たちに大切な最後の言葉を残されました。この言葉が「大宣教命令」なのです。

イエスに従うものとして、大宣教命令は神様の望まれていることをこの地で完成するための、私たちに与えられた「永遠の命令」です。

読んで、話し合おう

心にとどまるフレーズに線を引いてください。

大宣教命令：

「わたしは天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、また、わあしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」-マタイ28:18-20

話し合おう

- イエスは私たちに何をして欲しいと願われていますか？
- どこで弟子を作って欲しいと願われていますか？
- 新しい弟子に何をするようにと教えるべきですか？

行動

大宣教命令を記憶しよう。（マタイ28:18-20）

1)何度か書き出し（この本の後ろにスペースがあります）、記憶できるように口に出して練習してください。

2)記憶したことを互いに口に出して練習し合いましょう。

より深く、学ぼう

読んで、線を引き、話し合いましょう。

「わたしについて来なさい。あなたがたを人間をとる漁師にしてあげよう。」-マタイ4:19

「父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」-ヨハネ20:21

「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。さあ、行きなさい。あなたを遣わします」-ルカ10:2-3

この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それを本当に理解したとき以来、あなたがたの間でも見られるとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広がり続けています。福音はそのようにしてあなたがたに届いたのです。-コロサイ1:6

多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。-2テモテ2:2

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、終わりの日がきます。」ーマタイ24:14

どのように全てが完成するのでしょうか？

イエスの弟子として考えてください、あなたはイエスに従うものとして多くの世代と繋げられており、１世紀から繋がっているのです。最初の弟子はイエスの弟子を作るという命令に従い、多くの人を弟子とし、従いました。あなた自身もこの地上で書かれている神の話の一部です。

神はこの世のために計画を持たれています。悪は神の計画に抵抗しようとしています。しかし終わりに、神の国々に対する計画は完成されます。私たちは神の計画がいつ完全に完成するのかは知りません。しかし大宣教命令を通し、神様が私たちに行って欲しいことを知ることができます。あなたに与えられている使命を受け入れる準備はできていますか？

個人の適応

弟子ポケットを通し、あなたは少なくとも一人の人と体験したことを分かち合ったと思います。イエスのことを知ろうとし、彼の言葉に共に応答しようとされました。イエス様との関係が成長する時、簡潔にまた力強い方法で、他の人を弟子とすることを学ばれました。

話し合おう

・弟子ポケットを読み、使用する時、どの局面がもっともあなたにとって影響力がありましたか？

・あなたのグループの中で、神様はどのように働かれるのをみましたか？それはあなたをどのように励ましましたか？

・　神様はあなたのグループに次に何をして欲しいと願われていると思いますか？

分かち合おう

神様から受けたすばらしい祝福を他の人と分かち合ってください。

あなたの町のどの部分に必要があり、新しい弟子を増やすために開かれていますか？

この弟子ポケットの七つの体験を知る必要がある人を知っていますか？

神様があなたの思いの中に与えられた人のために祈る時を持ちましょう。あなたと一緒にこの弟子ポケットを読む機会を期待しましょう。イエス様があなたを送られているのです。行って人々を弟子としましょう！

謝辞

Dr. George Patterson, Dr. Pam Arlund, Frank Brown, Curtis Sergeant, Neil Cole, Meghan Strickland, Will Main, Felicity Dale, our team of partners, SCM board members, and Anj Riffel.

エリックについて

エリックの初めての北アメリカの人々に向けた旅は彼に情熱と伝統的なキリスト教国の外でのイエス様中心運動への方策へ劇的な影響を与えました。2010年に彼はDakota Sioux nationの一員として迎えられ名前も与えられました。学生教会運動の創立リーダーとしてそしてSCPXの訓練経験を用い、エリックは教会と弟子を世界中に増やすため、次世代のリーダーたちに権威を与えていきました。エリックのメッセージは、イエスの率直な、人々を弟子にするという召しのために、ファミリークリスチャン書店のiDiscipleのようなものに特色を得ています。彼は頻繁に、相談役として、また教会のトレーナー、大学でのミニストリー、そして国際的な宣教団体で働いています。エリックと彼の妻、ジェンは4人の子供がいます。彼らのイエス様、家族、そして旅をすることへの愛が彼らを全世界への冒険に導いています。

体験を分かち合いましょう
弟子ポケット注文：
ErikFish.com

深く掘り下げる準備はできていますか？
より深い弟子訓練の経験をしたければこちらを注文してください。

弟子：
イエス様との旅。あなたの世界を変えよう。

Available through: ErikFish.com and amazon.com

My Story

The Great Commission　大宣教命令